

くすりのしおり

注射剤

2025 年 06 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名:アルガトロバン HI 注 10mg/2mL「フソー」[脳血栓症急性期]

主成分:アルガトロバン水和物(Argatroban hydrate)

剤形:注射剤

シート記載など:



この薬の作用と効果について

血液の凝固に関与する酵素（トロンビン）を阻害することにより、血液を固まりにくくし、血管の中に血栓ができるのを防止します。

通常、発症後 48 時間以内の脳血栓症急性期[ラクネ（直径 15mm 以下の小梗塞）を除く]に伴う手足のまひ、うまく歩けない、立ち上がれないなどの症状改善に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血している（頭蓋内出血、出血性脳梗塞、血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の凝固障害、月経期間中、消化管出血、尿路出血、喀血、流産・分娩直後など性器出血を伴う妊産婦など）。脳塞栓またはそのおそれがある。意識障害を伴う大梗塞がある。出血の可能性がある（消化管潰瘍、大腸炎、細菌性の心内膜炎、脳出血を起こしたことがある、高血圧、糖尿病など）。肝臓が悪い。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（: 医療担当者記入）
- ・通常、はじめの 2 日間は、24 時間かけて静脈内に持続点滴注射します。その後の 5 日間は 1 日朝夕 2 回、1 回 3 時間かけて静脈内に点滴注射します。
- ・具体的な使用期間については、担当の医師にご確認ください。

生活上の注意

- ・この薬を注射したときは、脳や血液の働きを検査します。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、凝固時間の延長、出血、血尿、貧血、皮疹、かゆみ、じんま疹、嘔吐、下痢、頭痛、手足の痛み、熱感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・意識の消失、片側の手足が動かしくくなる、めまい [出血性脳梗塞]
- ・頭痛、嘔吐、血を吐く・便に血が混じる [脳出血、消化管出血]
- ・じんま疹、顔面蒼白（そうはく）、息苦しい [ショック、アナフィラキシー]
- ・体がだるい、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

注射剤

2025 年 06 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名:アルガトロバン HI 注 10mg/2mL「フソー」[慢性動脈閉塞症]

主成分:アルガトロバン水和物(Argatroban hydrate)

剤形:注射剤

シート記載など:



この薬の作用と効果について

血液の凝固に関与する酵素（トロンビン）を阻害することにより、血液を固まりにくくし、血管の中に血栓ができるのを防止します。

通常、慢性動脈閉塞症（バージャー病・閉塞性動脈硬化症）における手足の潰瘍や安静時の痛み、冷感の改善に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血している（頭蓋内出血、出血性脳梗塞、血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の凝固障害、月経期間中、消化管出血、尿路出血、喀血、流産・分娩直後など性器出血を伴う妊産婦など）。脳塞栓またはそのおそれがある。意識障害を伴う大梗塞がある。出血の可能性がある（消化管潰瘍、大腸炎、細菌性の心内膜炎、脳出血を起こしたことがある、高血圧、糖尿病など）。肝臓が悪い。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（:医療担当者記入）
- ・通常、1 日 2 回、1 回 2～3 時間かけて静脈内に点滴注射します。
- ・症状をみながら使用期間を決めていきますが、4 週間以内をめどに使用します。

生活上の注意

- ・この薬を注射したときは、血液の働きを検査します。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、凝固時間の延長、出血、血尿、貧血、皮疹、かゆみ、じんま疹、嘔吐、下痢、頭痛、手足の痛み、熱感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・頭痛、片側の手足が動かしくくなる、嘔吐、血を吐く・便に血が混じる [脳出血、消化管出血]
- ・じんま疹、顔面蒼白（そうはく）、息苦しい [ショック、アナフィラキシー]
- ・体がだるい、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

注射剤

2025 年 06 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名:アルガトロバン HI 注 10mg/2mL「フソー」[血液体外循環時の灌流血液の凝固防止（血液透析）]

主成分:アルガトロバン水和物(Argatroban hydrate)

剤形:注射剤

シート記載など:



この薬の作用と効果について

血液の凝固に関与する酵素（トロンビン）を阻害することにより、血液を固まりにくくし、血管の中に血栓ができるのを防止します。

通常、先天性アンチトロンビン III 欠乏患者、アンチトロンビン III 低下を伴う患者〔アンチトロンビン III が正常の 70%以下に低下し、かつ、ヘパリンナトリウム、ヘパリンカルシウムの使用では体外循環路内の凝血（残血）が改善しないと判断されたもの〕またはヘパリン起因性血小板減少症（HIT）II 型（ヘパリンの使用により、血小板減少と血管の中に血栓ができる症状を起こす疾患）の患者が血液透析を行うときに、回路内の血液凝固防止に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血している（頭蓋内出血、出血性脳梗塞、血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の凝固障害、月経期間中、消化管出血、尿路出血、喀血、流早産・分娩直後など性器出血を伴う妊産婦など）。脳塞栓またはそのおそれがある。意識障害を伴う大梗塞がある。出血の可能性がある（消化管潰瘍、大腸炎、細菌性の心内膜炎、脳出血を起こしたことがある、高血圧、糖尿病など）。肝臓が悪い。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（（
：医療担当者記入））
- ・通常、血液透析開始時に回路内に使用し、開始後も使用します。
- ・具体的な使用期間については、担当の医師にご確認ください。

生活上の注意

- ・この薬を注射したときは、血液の働きを検査します。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、凝固時間の延長、出血、血尿、貧血、皮疹、かゆみ、じんま疹、嘔吐、下痢、頭痛、手足の痛み、熱感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・頭痛、片側の手足が動かしくくなる、嘔吐、血を吐く・便に血が混じる〔脳出血、消化管出血〕
- ・じんま疹、顔面蒼白（そうはく）、息苦しい〔ショック、アナフィラキシー〕
- ・体がだるい、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる〔劇症肝炎、肝機能障害、黄疸〕

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

注射剤

2025 年 06 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名:アルガトロバン HI 注 10mg/2mL「フソー」[ヘパリン起因性血小板減少症 II 型（発症リスクのある場合を含む）における経皮的冠インターベンション施行時の血液の凝固防止]

主成分:アルガトロバン水和物(Argatroban hydrate)

剤形:注射剤

シート記載など:



この薬の作用と効果について

血液の凝固に関与する酵素（トロンビン）を阻害することにより、血液を固まりにくくし、血管の中に血栓ができるのを防止します。

通常、ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）II 型（ヘパリンの使用により、血小板減少と血管の中に血栓ができる症状を起こす疾患）（発症リスクのある場合を含む）における、経皮的冠インターベンション（血管の中から冠動脈を拡張する手術）施行時の血液凝固防止に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血している（頭蓋内出血、出血性脳梗塞、血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の凝固障害、月経期間中、消化管出血、尿路出血、喀血、流産・分娩直後など性器出血を伴う妊産婦など）。脳塞栓またはそのおそれがある。意識障害を伴う大梗塞がある。出血の可能性がある（消化管潰瘍、大腸炎、細菌性の心内膜炎、脳出血を起こしたことがある、高血圧、糖尿病など）。肝臓が悪い。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（: 医療担当者記入）
- ・通常、静脈内に持続注射します。
- ・具体的な使用期間については、担当の医師にご確認ください。

生活上の注意

- ・この薬を注射したときは、血液の働きを検査します。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、凝固時間の延長、出血、血尿、貧血、皮疹、かゆみ、じんま疹、嘔吐、下痢、頭痛、手足の痛み、熱感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・頭痛、片側の手足が動かしくくなる、嘔吐、血を吐く・便に血が混じる [脳出血、消化管出血]
- ・じんま疹、顔面蒼白（そうはく）、息苦しい [ショック、アナフィラキシー]
- ・体がだるい、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

注射剤

2025 年 06 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名:アルガトロバン HI 注 10mg/2mL「フソー」[ヘパリン起因性血小板減少症 II 型における血栓症の発症抑制]

主成分:アルガトロバン水和物(Argatroban hydrate)

剤形:注射剤

シート記載など:



この薬の作用と効果について

血液の凝固に関与する酵素（トロンビン）を阻害することにより、血液を固まりにくくし、血管の中に血栓ができるのを防止します。

通常、ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）II 型（ヘパリンの使用により、血小板減少と血管の中に血栓ができる症状を起こす疾患）における、血栓症の発症抑制に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血している（頭蓋内出血、出血性脳梗塞、血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の凝固障害、月経期間中、消化管出血、尿路出血、喀血、流産・分娩直後など性器出血を伴う妊産婦など）。脳塞栓またはそのおそれがある。意識障害を伴う大梗塞がある。出血の可能性がある（消化管潰瘍、大腸炎、細菌性の心内膜炎、脳出血を起こしたことがある、高血圧、糖尿病など）。肝臓が悪い。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（:医療担当者記入）
- ・通常、静脈内に持続点滴注射します。
- ・具体的な使用期間については、担当の医師にご確認ください。

生活上の注意

- ・この薬を注射したときは、血液の働きを検査します。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、凝固時間の延長、出血、血尿、貧血、皮疹、かゆみ、じんま疹、嘔吐、下痢、頭痛、手足の痛み、熱感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・頭痛、片側の手足が動かしくくなる、嘔吐、血を吐く・便に血が混じる〔脳出血、消化管出血〕
- ・じんま疹、顔面蒼白（そうはく）、息苦しい〔ショック、アナフィラキシー〕
- ・体がだるい、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる〔劇症肝炎、肝機能障害、黄疸〕

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

Drug Information Sheet("Kusuri-no-Shiori")

Injection

Published: 06/2025

The information on this sheet is based on approvals granted by the Japanese regulatory authority. Approval details may vary by country. Medicines have adverse reactions (risks) as well as efficacies (benefits). It is important to minimize adverse reactions and maximize efficacy. To obtain a better therapeutic response, patients should understand their medication and cooperate with the treatment.

Brand name: Argatroban HI Injection 10mg/2mL "Fuso" [acute cerebral thrombosis]

Active ingredient: Argatroban hydrate

Dosage form: injection

Imprint or print on wrapping:



Effects of this medicine

This medicine inhibits thrombin, an enzyme involved in blood coagulation, making it harder for blood to clot and preventing the formation of thrombi (blood clots) in blood vessels.

It is usually used to improve symptoms such as paralysis of limbs, difficulty walking, or inability to stand caused by acute cerebral thrombosis within 48 hours of onset, excluding lacunar infarctions (small infarctions with a diameter of 15 mm or less).

The following patients may need to be careful when using this medicine. Be sure to tell your doctor and pharmacist.

- If you have previously experienced any allergic reactions (itch, rash, etc.) to any medicines or foods.
- If you are bleeding (intracranial bleeding, hemorrhagic cerebral infarction, thrombocytopenic purpura, bleeding tendency due to angiopathy, hemophilia or other coagulopathy, women during menstruation, gastrointestinal bleeding, urinary tract bleeding, hemoptysis, genital bleeding due to miscarriage or premature birth / immediately after delivery, etc.) .
- If you have cerebral embolism or are at risk of it.
- If you have large infarction accompanying conscious disorder.
- If you are at risk of bleeding (patients with gastric/duodenal ulcer, colitis, bacterial endocarditis, a history of cerebral haemorrhage, hypertension, diabetes) .
- If you have liver disease.
- If you are pregnant or breastfeeding.
- If you are taking any other medicinal products. (Some medicines may interact to enhance or diminish medicinal effects. Beware of over-the-counter medicines and dietary supplements as well as other prescription medicines.)

Dosing schedule (How to take this medicine)

- Your dosing schedule prescribed by your doctor is((to be written by a healthcare professional))
- In general, this medicine is given by continuous intravenous drip infusion over 24 hours, for the first 2 days. For the following 5 days, it is given by intravenous drip infusion twice a day in the morning and the evening over 3 hours.
- Ask the doctor about the treatment span.

Precautions while taking this medicine

- When this medicine is used, brain and blood examinations should be conducted.

Possible adverse reactions to this medicine

The most commonly reported adverse reactions include prolonged coagulation time, bleeding, hematuria, anemia, rash, itching, hives, vomiting, diarrhea, headache, pain in the limbs, and feeling hot. If any of these symptoms occur, consult with your doctor or pharmacist.

The symptoms described below are rarely seen as initial symptoms of the adverse reactions indicated in brackets. If any of these symptoms occur, stop taking this medicine and see your doctor immediately.

- loss of consciousness, movement disorders of unilateral limb, dizziness [hemorrhagic cerebral infarction]
- headache, vomiting, vomiting blood, or bloody stools [cerebral hemorrhage, gastrointestinal hemorrhage]
- hives, pale face, breathing difficulty [shock, anaphylaxis]
- malaise, loss of appetite, or yellowing of the skin or the whites of the eyes [fulminant hepatitis, hepatic function disorder, jaundice]

The above symptoms do not describe all the adverse reactions to this medicine. Consult with your doctor or pharmacist if you notice any symptoms of concern other than those listed above.

Storage conditions and other information

For healthcare professional use only / /

For further information, talk to your doctor or pharmacist.

Drug Information Sheet("Kusuri-no-Shiori")

Injection

Published: 06/2025

The information on this sheet is based on approvals granted by the Japanese regulatory authority. Approval details may vary by country. Medicines have adverse reactions (risks) as well as efficacies (benefits). It is important to minimize adverse reactions and maximize efficacy. To obtain a better therapeutic response, patients should understand their medication and cooperate with the treatment.

Brand name: Argatroban HI Injection 10mg/2mL "Fuso" [chronic arterial occlusion]

Active ingredient: Argatroban hydrate

Dosage form: injection

Imprint or print on wrapping:



Effects of this medicine

This medicine inhibits thrombin, an enzyme involved in blood coagulation, making it harder for blood to clot and preventing the formation of thrombi (blood clots) in blood vessels.

It is usually used to improve symptoms such as limb ulcers, rest pain, and a cold sensation associated with chronic arterial occlusive disease, including Buerger's disease and arteriosclerosis obliterans.

The following patients may need to be careful when using this medicine. Be sure to tell your doctor and pharmacist.

- If you have previously experienced any allergic reactions (itch, rash, etc.) to any medicines or foods.
- If you are bleeding (intracranial bleeding, hemorrhagic cerebral infarction, thrombocytopenic purpura, bleeding tendency due to angiopathy, hemophilia or other coagulopathy, women during menstruation, gastrointestinal bleeding, urinary tract bleeding, hemoptysis, genital bleeding due to miscarriage or premature birth / immediately after delivery, etc.) .
- If you have cerebral embolism or are at risk of it.
- If you have large infarction accompanying conscious disorder.
- If you are at risk of bleeding (patients with gastric/duodenal ulcer, colitis, bacterial endocarditis, a history of cerebral haemorrhage, hypertension, diabetes) .
- If you have liver disease.
- If you are pregnant or breastfeeding.
- If you are taking any other medicinal products. (Some medicines may interact to enhance or diminish medicinal effects. Beware of over-the-counter medicines and dietary supplements as well as other prescription medicines.)

Dosing schedule (How to take this medicine)

- Your dosing schedule prescribed by your doctor is((to be written by a healthcare professional))
- In general, this medicine is given by intravenous drip infusion twice a day over 2-3 hours.
- Your doctor decides the duration of treatment according to your symptoms. It should be limited to 4 weeks or less.

Precautions while taking this medicine

- When this medicine is used, blood tests should be conducted.

Possible adverse reactions to this medicine

The most commonly reported adverse reactions include prolonged coagulation time, bleeding, hematuria, anemia, rash, itching, hives, vomiting, diarrhea, headache, pain in the limbs, and feeling hot. If any of these symptoms occur, consult with your doctor or pharmacist.

The symptoms described below are rarely seen as initial symptoms of the adverse reactions indicated in brackets. If any of these symptoms occur, stop taking this medicine and see your doctor immediately.

- headache, movement disorders of unilateral limb, vomiting, vomiting blood, or bloody stools [cerebral hemorrhage, gastrointestinal hemorrhage]
- hives, pale face, breathing difficulty [shock, anaphylaxis]
- malaise, loss of appetite, or yellowing of the skin or the whites of the eyes [fulminant hepatitis, hepatic function disorder, jaundice]

The above symptoms do not describe all the adverse reactions to this medicine. Consult with your doctor or pharmacist if you notice any symptoms of concern other than those listed above.

Storage conditions and other information

For healthcare professional use only / /

For further information, talk to your doctor or pharmacist.

Drug Information Sheet("Kusuri-no-Shiori")

Injection

Published: 06/2025

The information on this sheet is based on approvals granted by the Japanese regulatory authority. Approval details may vary by country. Medicines have adverse reactions (risks) as well as efficacies (benefits). It is important to minimize adverse reactions and maximize efficacy. To obtain a better therapeutic response, patients should understand their medication and cooperate with the treatment.

Brand name: Argatroban HI Injection 10mg/2mL "Fuso" [prevention of blood coagulation in extracorporeal circuit (during haemodialysis)]

Active ingredient: Argatroban hydrate

Dosage form: injection

Imprint or print on wrapping:



Effects of this medicine

This medicine inhibits thrombin, an enzyme involved in blood coagulation, making it harder for blood to clot and preventing the formation of thrombi (blood clots) in blood vessels.

It is usually used to prevent blood clotting in the dialysis circuit during hemodialysis in patients with congenital antithrombin III deficiency, patients with decreased antithrombin III levels (antithrombin III levels are reduced to less than 70% of normal range, and it is judged that the use of heparin sodium or heparin calcium does not improve coagulation (residual blood) in the extracorporeal circuit), or patients with heparin-induced thrombocytopenia (HIT) type II (a condition caused by the use of heparin that results in thrombocytopenia and the formation of clots within blood vessels) .

The following patients may need to be careful when using this medicine. Be sure to tell your doctor and pharmacist.

- If you have previously experienced any allergic reactions (itch, rash, etc.) to any medicines or foods.
- If you are bleeding (intracranial bleeding, hemorrhagic cerebral infarction, thrombocytopenic purpura, bleeding tendency due to angiopathy, hemophilia or other coagulopathy, women during menstruation, gastrointestinal bleeding, urinary tract bleeding, hemoptysis, genital bleeding due to miscarriage or premature birth / immediately after delivery, etc.) .
- If you have cerebral embolism or are at risk of it.
- If you have large infarction accompanying conscious disorder.
- If you are at risk of bleeding (patients with gastric / duodenal ulcer, colitis, bacterial endocarditis, a history of cerebral haemorrhage, hypertension, diabetes) .
- If you have liver disease.
- If you are pregnant or breastfeeding.
- If you are taking any other medicinal products. (Some medicines may interact to enhance or diminish medicinal effects. Beware of over-the-counter medicines and dietary supplements as well as other prescription medicines.)

Dosing schedule (How to take this medicine)

- Your dosing schedule prescribed by your doctor is((to be written by a healthcare professional))
- In general, this medicine is given into circuit at the start of hemodialysis and after the start.
- Ask the doctor about the treatment span.

Precautions while taking this medicine

- When this medicine is used, blood tests should be conducted.

Possible adverse reactions to this medicine

The most commonly reported adverse reactions include prolonged coagulation time, bleeding, hematuria, anemia, rash, itching, hives, vomiting, diarrhea, headache, pain in the limbs, and feeling hot. If any of these symptoms occur, consult with your doctor or pharmacist.

The symptoms described below are rarely seen as initial symptoms of the adverse reactions indicated in brackets. If any of these symptoms occur, stop taking this medicine and see your doctor immediately.

- headache, movement disorders of unilateral limb, vomiting, vomiting blood, or bloody stools [cerebral hemorrhage, gastrointestinal hemorrhage]
- hives, pale face, breathing difficulty [shock, anaphylaxis]
- malaise, loss of appetite, or yellowing of the skin or the whites of the eyes [fulminant hepatitis, hepatic function disorder, jaundice]

The above symptoms do not describe all the adverse reactions to this medicine. Consult with your doctor or pharmacist if you notice any symptoms of concern other than those listed above.

Storage conditions and other information

For healthcare professional use only / /

For further information, talk to your doctor or pharmacist.

Drug Information Sheet("Kusuri-no-Shiori")

Injection

Published: 06/2025

The information on this sheet is based on approvals granted by the Japanese regulatory authority. Approval details may vary by country. Medicines have adverse reactions (risks) as well as efficacies (benefits). It is important to minimize adverse reactions and maximize efficacy. To obtain a better therapeutic response, patients should understand their medication and cooperate with the treatment.

Brand name: Argatroban HI Injection 10mg/2mL "Fuso" [prevention of blood coagulation in patients with or at risk for heparin-induced thrombocytopenia type II undergoing percutaneous coronary intervention]

Active ingredient: Argatroban hydrate

Dosage form: injection

Imprint or print on wrapping:



Effects of this medicine

This medicine inhibits thrombin, an enzyme involved in blood coagulation, making it harder for blood to clot and preventing the formation of thrombi (blood clots) in blood vessels.

It is usually used to prevent blood coagulation during percutaneous coronary intervention (a procedure to widen narrowed coronary arteries from inside the blood vessel) in patients with heparin-induced thrombocytopenia (HIT) type II, a condition caused by the use of heparin that results in thrombocytopenia and the formation of clots within blood vessels, including patients at risk of developing this condition.

The following patients may need to be careful when using this medicine. Be sure to tell your doctor and pharmacist.

- If you have previously experienced any allergic reactions (itch, rash, etc.) to any medicines or foods.
- If you are bleeding (intracranial bleeding, hemorrhagic cerebral infarction, thrombocytopenic purpura, bleeding tendency due to angiopathy, hemophilia or other coagulopathy, women during menstruation, gastrointestinal bleeding, urinary tract bleeding, hemoptysis, genital bleeding due to miscarriage or premature birth / immediately after delivery, etc.) .
- If you have cerebral embolism or are at risk of it.
- If you have large infarction accompanying conscious disorder.
- If you are at risk of bleeding (patients with gastric / duodenal ulcer, colitis, bacterial endocarditis, a history of cerebral haemorrhage, hypertension, diabetes) .
- If you have liver disease.
- If you are pregnant or breastfeeding.
- If you are taking any other medicinal products. (Some medicines may interact to enhance or diminish medicinal effects. Beware of over-the-counter medicines and dietary supplements as well as other prescription medicines.)

Dosing schedule (How to take this medicine)

- Your dosing schedule prescribed by your doctor is((to be written by a healthcare professional))
- In general, this medicine is given by continuous intravenous infusion.
- Ask the doctor about the treatment span.

Precautions while taking this medicine

- When this medicine is used, blood tests should be conducted.

Possible adverse reactions to this medicine

The most commonly reported adverse reactions include prolonged coagulation time, bleeding, hematuria, anemia, rash, itching, hives, vomiting, diarrhea, headache, pain in the limbs, and feeling hot. If any of these symptoms occur, consult with your doctor or pharmacist.

The symptoms described below are rarely seen as initial symptoms of the adverse reactions indicated in brackets. If any of these symptoms occur, stop taking this medicine and see your doctor immediately.

- headache, movement disorders of unilateral limb, vomiting, vomiting blood, or bloody stools [cerebral hemorrhage, gastrointestinal hemorrhage]
- hives, pale face, breathing difficulty [shock, anaphylaxis]
- malaise, loss of appetite, or yellowing of the skin or the whites of the eyes [fulminant hepatitis, hepatic function disorder, jaundice]

The above symptoms do not describe all the adverse reactions to this medicine. Consult with your doctor or pharmacist if you notice any symptoms of concern other than those listed above.

Storage conditions and other information

For healthcare professional use only / /

For further information, talk to your doctor or pharmacist.

Drug Information Sheet("Kusuri-no-Shiori")

Injection

Published: 06/2025

The information on this sheet is based on approvals granted by the Japanese regulatory authority. Approval details may vary by country. Medicines have adverse reactions (risks) as well as efficacies (benefits). It is important to minimize adverse reactions and maximize efficacy. To obtain a better therapeutic response, patients should understand their medication and cooperate with the treatment.

Brand name: Argatroban HI Injection 10mg/2mL "Fuso" [prophylaxis of thrombosis in patients with heparin-induced thrombocytopenia type II]

Active ingredient: Argatroban hydrate

Dosage form: injection

Imprint or print on wrapping:



Effects of this medicine

This medicine inhibits thrombin, an enzyme involved in blood coagulation, making it harder for blood to clot and preventing the formation of thrombi (blood clots) in blood vessels.

It is usually used to prevent thrombosis in patients with heparin-induced thrombocytopenia (HIT) type II, a condition caused by the use of heparin that results in thrombocytopenia and the formation of clots within blood vessels.

The following patients may need to be careful when using this medicine. Be sure to tell your doctor and pharmacist.

- If you have previously experienced any allergic reactions (itch, rash, etc.) to any medicines or foods.
- If you are bleeding (intracranial bleeding, hemorrhagic cerebral infarction, thrombocytopenic purpura, bleeding tendency due to angiopathy, hemophilia or other coagulopathy, women during menstruation, gastrointestinal bleeding, urinary tract bleeding, hemoptysis, genital bleeding due to miscarriage or premature birth / immediately after delivery, etc.) .
- If you have cerebral embolism or are at risk of it.
- If you have large infarction accompanying conscious disorder.
- If you are at risk of bleeding (patients with gastric / duodenal ulcer, colitis, bacterial endocarditis, a history of cerebral haemorrhage, hypertension, diabetes) .
- If you have liver disease.
- If you are pregnant or breastfeeding.
- If you are taking any other medicinal products. (Some medicines may interact to enhance or diminish medicinal effects. Beware of over-the-counter medicines and dietary supplements as well as other prescription medicines.)

Dosing schedule (How to take this medicine)

- Your dosing schedule prescribed by your doctor is((to be written by a healthcare professional))
- In general, this medicine is given by continuous intravenous infusion.
- Ask the doctor about the treatment span.

Precautions while taking this medicine

- When this medicine is used, blood tests should be conducted.

Possible adverse reactions to this medicine

The most commonly reported adverse reactions include prolonged coagulation time, bleeding, hematuria, anemia, rash, itching, hives, vomiting, diarrhea, headache, pain in the limbs, and feeling hot. If any of these symptoms occur, consult with your doctor or pharmacist

The symptoms described below are rarely seen as initial symptoms of the adverse reactions indicated in brackets. If any of these symptoms occur, stop taking this medicine and see your doctor immediately.

- headache, movement disorders of unilateral limb, vomiting, vomiting blood, or bloody stools [cerebral hemorrhage, gastrointestinal hemorrhage]
- hives, pale face, breathing difficulty [shock, anaphylaxis]
- malaise, loss of appetite, or yellowing of the skin or the whites of the eyes [fulminant hepatitis, hepatic function disorder, jaundice]

The above symptoms do not describe all the adverse reactions to this medicine. Consult with your doctor or pharmacist if you notice any symptoms of concern other than those listed above.

Storage conditions and other information

For healthcare professional use only / /

For further information, talk to your doctor or pharmacist.